

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケース記録への記載が「項目のみ」が多く、利用者の生活の様子や職員の日々の関わりが第三者からみて分かりづらい。	利用者の様子や表情、発言、職員の関わりがより具体的な記載となるよう記録の目的や活用方法等を職員内で理解を深めていく。	研修等で具体的な実践方法の理解や周知を図っていく。	12ヶ月
2	35	福祉避難所として登録されていることの浸透性が低い。近隣住民や関係機関との間で有事の際にどのような協力関係を構築していくのか明確になっていない。	利用者が入居され日々生活されていることを近隣住民(自治会等)の方々に改めて情報共有を図り、有事の際、お互いに協力ができる関係性を構築する。	有事の際、まずは利用されている方々の生命を職員が守ることが第一なので、事業継続計画について準備を進めていく。運営推進会議などを活用し、近隣住民(自治会等)の方々に福祉避難所としての役割をお伝えし、協力関係を構築できるよう取り組んでいく。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。